

# 令和3年度学校自己評価システムシート (県立大宮東高等学校)

目指す学校像	安全・安心な環境の下、文武両道を旨とし、正義感溢れる心身ともに健康な生徒を育てる学校
--------	--

※ 学校関係

重点目標	1 生徒の能力を最大限に引き出す授業を実践し、自主学習する習慣を確立させ、確かな学力の定着を図る。 2 組織的・計画的なキャリア教育を通して、生徒が主体的に一つ上を目指し進路を実現できる能力を培う。 3 生徒指導の充実と部活動等の活性化を図り、安全・安心な環境の下、高い規範意識と豊かな人間性を持った生徒を育成する。 4 保護者や地域と密接に連携し、地域に信頼される開かれた学校づくりをする。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	書面開催名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標			年 度 評 価 (2月1日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	次年度への課題と改善策	
1	<input type="checkbox"/> 現状 ・授業満足度は年々上昇しているが、自主学習の習慣が定着していない生徒も多い。 <input type="checkbox"/> 課題 ・主体的な生徒の学びを促し、主体的に取り組む姿勢を育てる為の授業改善を一層進め、自主学習の習慣を身に付けさせる必要がある。	生徒の学習意欲の向上と主体的な学習習慣の確立、自主学習時間の増加。	①全教科においてICT環境を積極的に活用し、本校生徒の実態に即した「主体的・対話的で深い学び」を実践する。 ②研修会、授業見学、教科会等を活用し、授業改善を進める。また自主学習時間を増やすための方策や工夫、家庭学習での自主学習を進めやすい教材・課題作成について各教科で取り組み、保護者の協力も促す。	①学習意欲の向上と授業満足度に係る授業アンケートの結果。 ②授業改善につながる情報交換や検討の実施状況と各教科会の活性化。アンケートによる生徒の自主学習時間の状況。	①授業満足度 88.9%(+0.5)、授業が分かる 85.5%(+1.1)ともに微増。 ②自主学習時間を増やすために研修会を実施し、工夫や取組の実践報告で共有、検討。授業研究週間2回設定、各教科で授業改善、自主学習時間を増やす方策を実践した結果、1日の学習時間:「0~30分」(+2.3)、「1~2時間」(-1.5)、調査前・調査中「2時間未満」(+4.4)、「2~5時間以上」(-4.0)	B	職員研修会での実践報告等で授業改善が進み、授業満足度は上昇したが、普段の学習時間は依然として少なく、自主学習の習慣化が図れない生徒が多い。習慣化しない要因は基礎・基本の定着に課題がある部分と各々何をどのように学習して良いかわからない状況もある。次年度はより丁寧な自主学習課題の作成等のため、各教科・各学年の組織的な取組が必須である。
2	<input type="checkbox"/> 現状 多様な進路希望に対し、3年間を見通した進路指導実現と、コロナ禍と高大接続改革に伴う入試制度に対応ができていない。 ・生徒、保護者とも進路指導満足度は比較的高い水準である。 <input type="checkbox"/> 課題 ・生徒一人一人の可能性や適性に応じた、より高い目標を指す指導の研究が必要である。 ・多様な進路希望に応えるため、教員の指導力向上を更に図る必要がある。	生徒の可能性と主体性を引き出し、生徒一人一人に、それぞれの「一つ上」の進路を探し出させ、目指させる進路指導の取組。	①組織的かつ継続的に3年間を見通した進路指導を行うとともに、生徒・保護者へ十分な情報提供を行い、進路意識を高め主体的に進路実現できる生徒を育てる。 ②大学入学者選抜改革への対応と併せてコロナ禍の中、専門学校、公務員、民間就職も含めた、全ての生徒に「一つ上」の希望進路実現に向けた指導を推進する。 ③全教員の指導力向上を図り、生徒一人一人の可能性や適性を見極めた進路指導を組織的に行うことで、「一つ上」の目標にチャレンジする生徒を育てる。	①生徒の主体性を育む各学年進路行事と分野別指導・説明会等の実践状況。進路日より等の進路啓発資料の発行状況。 ②生徒の進路希望状況と実現状況。大学受験や公務員試験受験での「一つ上」の目標を目指す取組状況。補習・面接・小論文等の指導実施状況。生徒・保護者の進路指導満足状況。 ③職員研修会の実施状況や入試選抜改革への対応状況、模擬試験や学びの基礎診断の分析と活用、キャリアパスポート(NOLTY手帳)の活用状況。	①各学年の進路行事はコロナ禍でありながら、オンラインも併用するなどの様々な工夫で対応し概ね実施することができた。また、進路啓発を兼ね、学年通信を3学年合計19回発行、生徒、保護者に情報提供できた。 ②12月末までの進路決定率は90.1%(+1.6)、大学・短大50.8%(-4.5)専門学校4.4%(-8.6)(+2.1)就職14.2%(+2.6)。推薦で明治学院大等合格や、国公立大推薦にチャレンジする者もいた。面接・小論文指導等学年団で協力して実施、進路指導満足度は生徒が79.2%(+1.0)保護者が85.5%(-0.4)であった。 ③教員研修は「専門学校への進路指導」「新教育課程に伴う学習評価方法について」「スタディサポート結果分析」を実施。	A	昨年からの引き続きコロナ禍での入試となったが、現時点で90.1%と進路希望の達成度は良好であった。更に高い目標への挑戦に向けて生徒の意識改革を継続は必須である。「一つ上を目指す」取組では、国公立大学受験に向けて、共通テストまで頑張った生徒が8名出た。結果はまだ先であるが、次年度も繋げていきたい。公務員試験に関しては、今年は延べ28件と合格数を伸ばすことができた。引き続き「高い目標を目指す」指導を研究し、実践することが課題である。
3	<input type="checkbox"/> 現状 ・基本的生活習慣等は概ね確立しているが、登下校時における自転車運転マナー等の苦情が多い。 ・9割以上の生徒が部活動に所属し、県大会や関東大会、全国大会等で活躍しているが、コロナ禍において生徒の意欲やスキル、体力の低下も見受けられる。 <input type="checkbox"/> 課題 ・安全・安心な学校生活を送れるよう更なる規範意識を育成する。 ・コロナ禍において運動部、文化部を問わず感染防止対策をしながら部員の主体性を育むとともに、活動意欲を一層高めさせ、自己実現と競技実績の向上を図る。	3年間を見通した、規範意識を高める生徒指導の充実。 豊かな人間性を育て、目標に向かって主体的に努力する生徒を育てる部活動と学校行事の活性化。	①生徒指導部・学年・家庭の連携による生活指導を徹底する。 ②県警指定の自転車マナーアップ推進校の事業を効果的に推進する。	①遅刻件数、特別指導件数、交通事故件数、苦情件数。 ②全校集会での講演会や職員・保護者による立哨指導の状況。	昨年度実施できなかった通常一斉指導や頭髮服装指導等教職員の共通認識をもって年間を見直し規範意識を高める生徒指導の充実については概ね達成できた。 ①遅刻率は昨年度とほぼ同様であった。コロナ禍にありながら挨拶の励行はできていた。 ②全校集会時に交通安全指導を徹底。交通事故報告書29件(+5件)であった。	A	登下校時の交通マナーに関する苦情は減少したが、登下校時の事故件数は増加。苦情ゼロ、事故ゼロに向け、生徒の交通マナー遵守の一層の意識付けの徹底を図る。 部活動では、コロナ禍により活動に制限があったが、多くの大会が開催された。学校全体で感染対策を徹底し、すべての部活動において各大会に出場できた。中でも関東大会や全国大会入賞を果たすことができたのは大きな成果である。次年度も感染対策を講じ、引き続き上位大会への出場実績を維持しながら好結果を得ることが課題となる。また、活動制限が生じた場合も生徒の意欲やスキル、体力が低下しないよう活動に工夫を凝らしていくことも課題である。
4	<input type="checkbox"/> 現状 ・HPに新たな動画の配信やコロナ禍に対応した学校説明会を実施する等情報発信に努めているが、実際は普通科の倍率は定員割れとなった。 <input type="checkbox"/> 課題 ・コロナ禍における新たな近隣施設等の交流の在り方を検討するなど本校の魅力と生徒の活躍ぶりが伝わる広報活動を推進し、志願者数を増やすとともに開かれた学校づくりを推進する。	本校の魅力を一層積極的にアピールし、生徒募集につなげるとともに、地域に開かれた学校づくりの推進。	①ホームページの動画・学年・部活動のページをより充実させるとともにTwitterでの発信や徹底した感染防止対策をした学校説明会を通じ、「がんばる大東生」を発信し、本校への理解を浸透させる。 ②開かれた学校づくりを推進するため、コロナ禍でも感染対策を講じながら近隣施設等との交流を行う。	①ホームページやTwitterの更新回数やアクセス数。学校説明会の参加者数やその満足度と好感度及び入学志願者数。 ②近隣施設等との交流・ボランティア活動等の地域交流の推進状況。	①HPは、新たに3つコンテンツを作成。動画を配信し、本校の魅力をアピールするよう工夫した。更新回数は大会結果報告、学校行事や学校生活に関する更新等345回(+46.2)。アクセス数は835,295(+45.5%)と大きく増加した。学校説明会参加者数2,583名(+14.7%)アンケートには「良かった」が77.7%(+0.4)その他概ね好評の感想が多数。12/15現在の志願者倍率、普通科0.78倍(-0.07)、体育科1.10倍(-0.16)。 ②近隣施設との交流・ボランティア活動等は感染対策を講じ実施した。昨年度はすべて中止となったが、今年度は体育科小学校との学び合い、清掃活動等のボランティア、吹奏楽部、ソングリーディング部の発表等を、対策を講じながら実施した。	A	今年度は土曜日を休業日とし、新たな形態で学校説明会を企画し本校の魅力をアピールした。次年度以降も更に、参加者及び志願者を増やすことが課題である。学校説明会の形式やホームページの内容を一層充実させ、本校の特色、魅力の発信方法について工夫検討が必要である。 近隣施設等との交流は、コロナ禍においても規模縮小等の工夫を重ね、できるだけ実施できたが、次年度も新たな交流の在り方を検討し、より地域に開かれた学校を目指す。

実施日	令和4年2月18日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>先生方が様々な工夫を施し授業を展開されていると思われる。引続きコロナ禍で厳しい状況であるが協調学習については、生徒が主体的・対話的で深い学びの実現ができるように取り組んでほしい。自主学習が習慣になり部活動との両立が図れるような工夫を講じていただきたい。</p> <p>進路希望達成状況は、良好であり良いと思われるが、このコロナ禍で生徒は進路への不安が高まっていると考えられる。卒業後の進路はそれぞれの生き方に関わる重要なことである。生徒にとって身近な位置にいる人生の先輩として、引続き個々の進路実現に向けて生徒に寄り添いながら支援されることを願いたい。</p> <p>地域の人たちに愛される大宮東高生でいて欲しいと願っています。それぞれのクラブ活動で頑張っている姿を心から応援してくれる関係性を地域社会と築けることが理想です。そのためには引続きルールやマナーについて様々な場面で生徒の皆さんに伝えてください。交通事故が増えているのは残念である。交通規則と自転車マナー遵守の徹底をお願いしたい。自転車マナーアップ推進校としてヘルメット着用推進、自転車利用安全5原則の徹底が重要であると考えます。コロナ禍で、行事の中止や延期、活動の制限など生徒諸君には本当に大変な状況での学校生活であるが命の大切さを今一度考えて欲しい。一方このような中、部活動等で一定の実績を残したことは賞賛に値する。今後は科学的根拠を明確にした指導方法の工夫・改善あるいはAiGrowやSPLYZAの導入なども検討いただければ幸いです。</p> <p>学校説明会が予定どおり実施できた良かったと思うが、現在、生徒募集人数に達していない状況を考えるに今後は大宮東の魅力やどのような広報活動で行うことが良いのかを検討・実施してほしい。多くの中学生とその保護者が来校して、大宮東の良さを肌で感じてほしいと考える。</p> <p>全ての項目における達成度は適切であると考える。</p>